

---

# 超短編小説集

白山菊理

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

超短編小説集

### 【Nコード】

N6343D

### 【作者名】

白山菊理

### 【あらすじ】

これは新聞の小説に応募して落ちた作品たちです。落ちたまま終わるのも可哀想なので、2話ずつ連載する事にしました。1つの小説につき文字数は300～400字です。

## 雪の日に・私闘

### 雪の日に

雪が降ると子供達は外に出て嬉しそうにはしゃぎまわっている。人間ならそれでいい。

だって暖かい格好で、ちゃんと靴をはいて遊びに行ける。でも僕は違う。

僕だってこんな日は遊びに行きたい。ただど行けない。

洋服は着られないし、靴なんてもってのほかだ。

体は冷えるし、足の裏が冷たくてしょうがない。

だからこうやって炬燵こたうで丸くなっているしかない。

僕の隣ではお父さんが新聞を読んでいる。

時々、外で無邪気に遊んでいる子供達をちらっとみては、どこか懐かしそうな顔をする。

きっと自分が子供の頃を思い出しているのだろう。

ふと、お父さんの視線が僕に止まる。

「本当に“猫は炬燵で丸くなる”だなあ。」

## 私闘

舞う。とにかく舞う。

舞うように、敵を切り裂いてゆく。

これは私の戦場。見方なんて誰も居ない。

なんでこんな戦いをしているのか、それは自分のためだから。

私が折れたらここで“END”

私はこの戦場にて希望を背負い、敵と戦うの。

倒した敵は積み上げられる。この光景は私の勲章。

こんなにも山が出来て、もう足の踏み場もないくらい。

それでも私は敵を倒さなければならぬのだ。

「ちょっと、アンタは！こんな所で居眠りするくらいなら早く布団に入りなさい」

母の声がした。私は目を覚ます。

机の上に積み上げられた無数の問題集。

これは全部“済”。私が勉強してきた勲章<sup>あかし</sup>

これだけ問題集と言う名の敵を倒しても未だに敵わないものがある。

“睡魔”と“母”。

まだまだ未熟だと思う高校3年の冬。

まだまだ先の春到来。

## 雪兎・誰？

〔雪兎〕

雪兎を作った。

譲葉を耳にして、南天の実を目にして。

真っ赤な目は、まるで寒さで凍えているように見えた。

そっぴい、僕のおても真っ赤だ。

「そろそろお家に入りましょう」

母さんは僕の手を引き、家に向って歩き出す。

僕は雪兎が寂しいんじゃないかって気がかりで、家に入った後もずっと庭の雪兎を見てた。

雪は降り積もる。雪兎も雪に埋もれてゆく。

とうとう譲葉の先っぽしか見えなくなった。

雪に埋もれた雪兎、そのうち本当の兎に見えてきて、可哀想で切なくて。

翌朝、父さんは僕に言った。

「一緒に雪兎を作ろうか」

僕のと父さんの合わせて2匹。

これならもう寂しくないね。

「誰？」

いつものように迎えた朝は、いつもと違っていた。

どこかが違う、何かが違う。

けれど具体的な違いが分からない。

妙なモヤモヤを抱えたまま僕は自分の部屋から出てリビングへ向かった。

どうやらいつもと違う何かを感じていたのは僕だけではなかったらしい。

父さんも母さんも上の空。

父さんは新聞を逆さに持つてるし、母さんは玉子を焦げつかせてる。会話の無いまま時間が経過し、母さんが父さんの前に焦げた玉子焼きを置いた。

何故か僕の分は無い。

ここで母さんがようやく口を開いた。

「あの子ったらどこに行つたのかしらね？無断外泊なんて今まで無かったのに。」

あの子とは僕の事である。

ジャア此処二居ル僕ハ…？

## 雪兎・誰？（後書き）

「雪兎」はに落選しましたが「誰？」の方は東京新聞300字小説に受かり、掲載されました。少し自信がついたので、これからも頑張っていきたいと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6343d/>

---

超短編小説集

2010年10月28日08時07分発行